

千葉市感染症発生動向調査情報

2016年 第14週 (4/4-4/10) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		14週	13週	12週	11週
上段:患者数 下段:定点当たりの患者数	小児科	18	18	18	18
	眼科	5	5	5	5
	インフルエンザ*	28	28	28	27
	基幹定点	1	1	1	1

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定 点	感 染 症 名	千 葉 市					千葉県
		注意報	4/4-4/10	3/28-4/3	3/21-3/27	3/14-3/20	3/28-4/3
			14週	13週	12週	11週	13週
小 児 科	RSウイルス感染症		0	0	0	0	8
	咽頭結膜熱		2	4	1	3	18
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		41	54	33	53	340
	感染性胃腸炎	○	108	97	82	102	620
	水痘		5	7	8	7	43
	手足口病		0	0	0	1	0
	伝染性紅斑	○	4	1	3	7	55
	突発性発しん		9	9	3	7	50
	百日咳		0	0	0	0	0
	ヘルパンギーナ		0	0	0	0	1
	流行性耳下腺炎		7	14	10	12	151
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		119	187	268	578	1,756
眼 科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎		2	2	5	4	19
基 幹 定 点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	4
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	1	0
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	1	1

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(11件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	50歳代	画像診断	結核	女性	80歳代	画像診断
結核	男性	60歳代	病原体等の検出等	E型肝炎	男性	50歳代	血清IgA抗体の検出
結核	男性	70歳代	病原体遺伝子の検出	デング熱	女性	20歳代	血清非構造蛋白の検出
結核	女性	40歳代	病原体等の検出等	急性脳炎	女性	10歳未満	中枢神経症状及び先行感染症
結核	女性	40歳代	IGRA検査	風しん	男性	20歳代	血清IgM抗体の検出
結核	女性	60歳代	特異的IFN-α の検出	-	-	-	-

・第14週は、結核7件(58)、E型肝炎1件(1)、デング熱1件(2)、急性脳炎1件(10)、風しん1件(1)の報告があった。

※ ()内は2016年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第14週のコメント

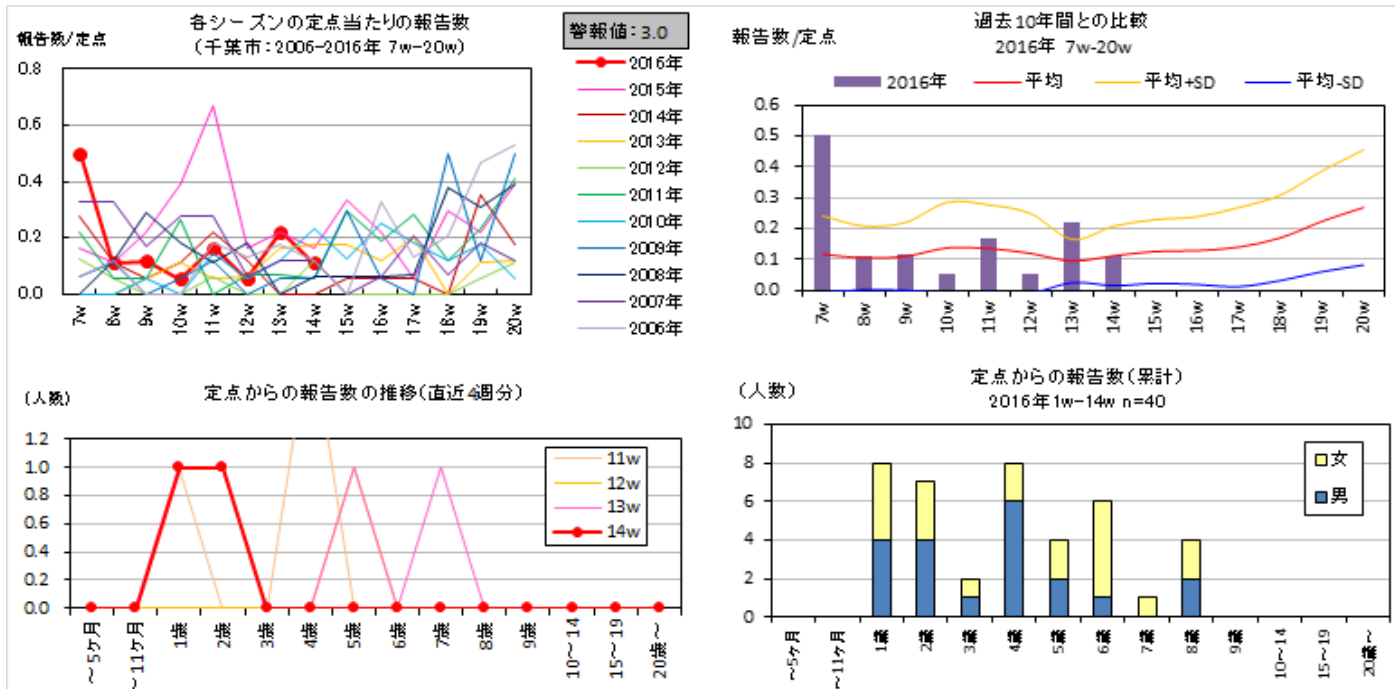
＜感染性胃腸炎＞前週より増加し6.0となった。過去10年の同時期と比べると少な目。

＜伝染性紅斑＞前週より増加し0.22となった。過去10年の同時期と比べると少な目。

■ トピック ■

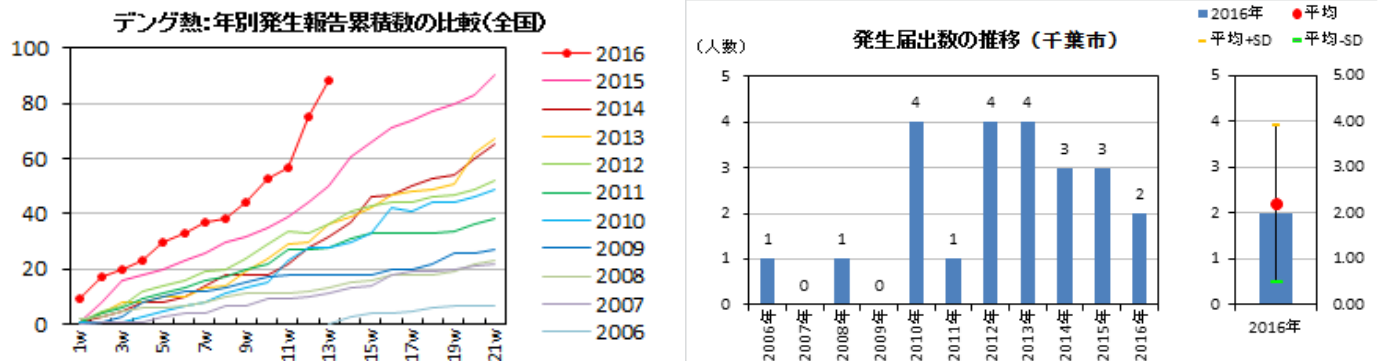
<咽頭結膜熱>

全国レベルの第13週は、過去9年の同時期と比べると少なくなっています。都道府県別では、島根県、鳥取県、佐賀県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルより少なめとなっています。千葉市では第9週から上下しながら増加傾向にあり、2016年第14週は前週より減少し0.11となり、過去10年の同時期と比べるとほぼ平均レベルとなっています。例年の発生動向によると、これから増加する可能性があります。区別の発生状況は、緑区(0.5/定点)の1歳及び2歳で発生報告がありました。2016年第1週から第14週までの累積報告数(n=40)によると、性別では男女共に50.0%(共に20名)で、年齢階級別では1歳及び4歳(共に20.0%:8名)、2歳(17.5%:7名)の順に多くなっています。



<デング熱>

全国レベルの第13週現在の累積報告数は88名で、過去9年の同時期と比べるとおよそ1.8倍～8倍で最多となっています。都道府県別では、東京都(21名)、神奈川県(9名)、大阪府(8名)の順に多く報告されています。千葉県(7名)は全国第4位となっています。千葉市では2016年第14週に1件の報告があり、2016年はこれまで2名の発生報告がありました。いずれも国外での感染によるものです。



<急性脳炎>

全国レベルの第13週現在の累積報告数は295名で、過去9年の同時期と比べるとおよそ1.8倍～6倍で最多となっています。都道府県別では、東京都(40名)、千葉県(20名)、愛知県、埼玉県及び大阪府(共に18名)の順に多く報告されています。千葉市では2016年第14週に1件の報告があり、2016年はこれまで10名の発生報告がありました。過去10年の平均近くとなっています。性別では男女ともに50%(共に5名)で、年齢階級別では0歳が2名、1歳から9歳までが7名、10歳以上が1名となっており、原因となる病原体は不明が6名、インフルエンザウイルスAが2名、RSウイルスが1名、ヒトヘルペスウイルス6型が1名となっています。

